

## 研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 良質で安全な水の持続的な供給を実現するための山体地下水資源開発技術の構築

2. 研究代表者： 小杉 賢一郎（京都大学大学院農学研究科 准教授）

3. 中間評価結果

### （1）研究課題の進捗状況と成果の見込みについて

#### 総合評価コメント

本研究は、これまであまり着目されてこなかった山体地下水を水資源として活用するための技術開発を行うものである。詳細なボーリング調査により山体地下水の実態解明が進められており、平成 25 年の台風 18 号による計測機器の故障等の影響による研究の遅延があったにも関わらず、全体として概ね計画通りに進捗している。

詳細な現地調査結果をもとに、山体地下水およびその挙動に関わるこれまでにないいくつかの新たな知見が得られており、科学技術への貢献が期待できる。また、山体地下水の流出機構に関する新たな知見は、より適切な水資源の利用だけでなく、中山間地における適切な豪雨災害対策の確立にも、大いに貢献することが期待される。

海外の大学研究者、国内研究機関等とのネットワークを広げているほか、民間企業との共同研究も開始した。水資源開発の実践的課題を考えた連携については地域事情を踏まえた行政担当者などとの連携・意見交換もより深化することが必要と考えられる。

本研究により、山体地下水の利用の可能性が初めて検証されたと言える。水資源開発・災害（斜面崩壊）防止に向けての実用化と対策のためには、相対的に簡易な観測調査により山体地下水構造の合理的な推定が可能になることを期待したい。応用地質・地理学の専門家の参加も加わっての研究計画のさらなる展開が望まれる。

以 上